

## I. 2021年度事業報告（2021年3月1日から2022年2月28日まで）

## 【公益目的事業】

(1) 会誌「化学と生物」、論文誌等の刊行を通じて農芸化学の普及啓発を行う事業

1) 学会誌「化学と生物」の発行状況

会誌送付の状況（括弧内は紙媒体による送付数）

（2022年2月末現在）

	化学と生物 (第60巻, 第2号)		Biosci.Biotechnol.Biochem (第86巻, 第2号)	
	国内	国外	国内	国外
名誉会員	13 (6)	1 (1)	13 (6)	1 (1)
有功会員	221 (65)	0 (0)	221 (7)	0 (0)
シニア会員	218 (24)	0 (0)	218 (5)	0 (0)
一般会員	5,297 (94)	6 (0)	5,297 (118)	6 (0)
教育会員	82 (81)	0 (0)	82 (2)	0 (0)
学生会員	1,904 (6)	1 (0)	1,904 (5)	1 (0)
ジュニア会員	8 (0)	0 (0)	8 (0)	0 (0)
国外会員	0 (0)	4 (1)	0 (0)	4 (2)
賛助会員	96 (93)	0 (0)	96 (92)	0 (0)
団体会員	229 (228)	0 (0)	229 (227)	0 (0)
寄贈・交換	0 (17)	0 (8)	0 (4)	0 (10)
追加送本 <sup>※1</sup>	0 (8)	0 (0)	0 (4)	0 (0)
販売 <sup>※2</sup>	0 (480)	0 (0)	71 (0)	1,462 (0)
広告用	0 (20)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
事務局保存用	0 (15)	0 (0)	0 (10)	0 (0)
計	8,068 (1,137)	12 (10)	8,139 (480)	1,474 (13)
総計	8,080 (1,147)		9,613 (493)	
紙媒体印刷部数	(1,250)		(500)	
紙媒体残部	(103)		(7)	

※ オンライン版会誌送付数は2021年度会費納入済の会員数

※1 賛助会員に追加で送本しているもの（有料）

※2 和文誌を刊行している国際文献社、英文誌を刊行しているOxford University Pressが販売しているもの

Oxford University Pressの販売データは2021年12月末時点のもの

## 「化学と生物」掲載頁数（下段は編数）

	第55巻 (2017年)	第56巻 (2018年)	第57巻 (2019年)	第58巻 (2020年)	第59巻 (2021年)
解説	412 57	392 53	359 49	353 47	342 44
セミナー室	103 15	116 16	217 26	138 19	83 10
今日の話題	186 69	103 39	90 35	94 34	64 21
バイオサイエンススコープ	47 9	20 4	0 0	12 2	6 1
生物コーナー・化学の窓	0 0	11 2	6 1	0 0	5 1
トップランナーに聞く	5 1	4 1	9 1	0 0	8 1
海外だより・学界の動き	0 0	9 2	22 4	21 4	4 1
プロダクトイノベーション・ テクノロジーイノベーション	38 6	32 6	28 5	40 7	44 7
農芸化学 @High School	24 8	23 7	17 5	21 5	29 7
特別寄稿					19 2
特集号		97 20			
その他	26	29	28	25	32
印刷頁数（冊子体）	844	836	776	704	636

「化学と生物」執筆者へ「化学と生物・クリアファイル」を配布している。

## 2) 学会誌「Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry」の発行状況

## 英文誌投稿状況・掲載状況

月	2021年														2022年		
	前年末	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	1	2	計
手持数	180	150	134	119	117	81	80	79	86	76	78	80	70		76	82	
受理数		74	63	92	83	63	77	89	71	60	67	61	58	858	67	56	123
掲載数		33	34	32	31	32	27	17	19	18	15	16	15	289	16	17	33
返却数		71	45	75	54	67	51	73	45	52	50	43	53	679	45	33	78
issue		85-02	85-03	85-04	85-05	85-06	85-07	85-08	85-09	85-10	85-11	85-12	86-01		86-02	86-03	

## 英文誌掲載の状況

	受理報文数		掲載報文数		返却報文数		年末手持 報文数	印刷頁数 (投稿論文)	印刷部数	IF
		うち 海外		うち 海外		うち 海外				
2017年	694	360	299	58	412	309	162	2410 (Vol. 81)	810 (Vol. 81, No. 12)	1.255
2018年	742	422	291	53	439	334	174	2224 (Vol. 82)	735 (Vol. 82, No. 12)	1.297
2019年	947	669	289	95	661	563	171	2393 (Vol. 83)	700 (Vol. 83, No. 12)	1.516
2020年	1119	835	297	101	813	731	180	2608 (Vol. 84)	650 (Vol. 84, No. 12)	2.043
2021年	858	613	289	77	679	599	70	2475 (Vol. 85)	500 (Vol. 85, No. 12)	
増減	-261	-222	-8	-24	-134	-132	-110	-133	-150	

\* 増減は2020年と2021年の比較

3) 2021年度大会プログラム集は2021年2月25日にPDF版を発行した。

4) 2021年度大会講演要旨集は2021年3月5日にPDF版を発行した。

## (2) 学術大会, 講演会等の開催を通じて農芸化学の普及啓発を行う事業

- 1) 2020年度および2021年度学会賞等受賞者講演の開催  
2020年度および2021年度の日本農芸化学会賞・日本農芸化学会功績賞・農芸化学技術賞の受賞者講演は2021年3月18日にホテルメトロポリタン仙台4F 千代(宮城県仙台市青葉区中央1-1-1)よりライブ配信で行なった。また、2020年度および2021年度の農芸化学奨励賞・農芸化学女性研究者賞・農芸化学若手女性研究者賞・農芸化学女性企業研究者賞の受賞者講演は2021年3月19日にオンライン配信で行なった。
- 2) 2021年度大会の開催  
2021年度大会は2021年3月18日から21日までの4日間、Zoom等を使用したオンラインにおいて以下の内容で開催され、大会参加者数は3,226名であった。
- ・口頭発表による一般講演(1,299題)
  - ・シンポジウム(25テーマ・139題)の発表と討論
  - ・スポンサーシンポジウム(9社・9題)
  - ・男女共同参画ランチョンシンポジウム(2題)「女子学生・若手女性研究者の人生デザインのために」
  - ・企業展(17社)
  - ・展示会(27社・30枠)
  - ・ジュニア農芸化学会(84題)
  - ・産学官学術交流フォーラム(16題)
  - ・農芸化学「化学と生物」シンポジウム(3題)
  - ・農芸化学Frontiersシンポジウム(6題)
- 大会に先立ち、2021年3月15日にオンラインで報道各社を招き記者会見を開催した。新聞、出版社各15社15名に学会および2021年度大会の広報資料を配布し、学会長から学会の紹介、大会実行委員長から大会全体の紹介、さらに広報委員長、広報理事からトピックス31演題の紹介、解説を行った。
- 2021年度大会におけるトピックス賞として下記31題を表彰した。
- 3I05-09 石田亘広 株式会社豊田中央研究所  
「生物鉱物化ペプチド提示シルクによるレアアースの直接回収」
- 4H02-16 新井俊陽 花王株式会社生物科学研究所  
「糸状菌 *Trichoderma reesei* を用いた転写因子制御による誘導物質フリーの糖化酵素生産システム」
- 2F02-08 加藤陽菜多 北海道大学工学研究院  
「ポリグルタミン酸生合成におけるエピメリ化酵素の同定」
- 2G05-09 小境陵介 東京大学大学院農学生命科学研究科  
「goadvionin における脂肪酸部位の生合成の解析」
- 3G03-01 星川陽次郎 東京大学大学院農学生命科学研究科  
「奇数鎖脂肪酸は分裂酵母において細胞膜極性と細胞分裂に異常を引き起こす」
- 4F02-14 上園幸史 東京大学大学院理学系研究科  
「pH低下による塩基性両親媒性構造の減少が抗マラリア

- 薬耐性の原因である」
- 3F07-11 三輪真由佳 キリンホールディングス株式会社  
「超臨界流体クロマトグラフィーと結晶スポンジ法を連結した分析系における極性溶媒耐性結晶スポンジの活用」
- 3G06-04 柳川謙吾 北海道大学工学研究院  
「配列制御型ポリヒドロキシアルカン酸合成酵素を用いたランダムホモブロック共重合体グリコール酸ポリマーの生合成」
- 2D02-07 楊 琳云 九州大学大学院農学研究院  
「ウーロン茶ポリフェノールの腸管上皮細胞におけるmiRNA発現調節作用とその機能」
- 3D02-07 林 優里 お茶の水女子大学・ヒューマンライフサイエンス研究所  
「高度不飽和脂肪酸欠乏における肝臓の中性脂肪及びコレステロールの合成亢進と制御機構」
- 2D02-05 今倉悠貴 富士フイルム株式会社  
「ヒトiPS細胞由来腸管上皮細胞の特性と食品機能解析への応用」
- 2D02-06 三原敏敬 亀田製菓株式会社お米総合研究所  
「*Lactobacillus paracasei* K71の経口摂取によるスギ花粉アレルギー症状の緩和効果」
- 3C03-04 山本真生 九州大学大学院農学研究院  
「植物マイクロRNAの肺線維化抑制作用」
- 4E03-07 福田隆文 キリンホールディングス株式会社  
「脳腸相関を活性化するホップ苦味酸摂取による注意機能およびストレス状態の改善」
- 3E05-13 永井俊匡 高崎健康福祉大学農学部  
「長期間の咀嚼は視床下部の遺伝子発現の変化と血圧の低下をもたらす」
- 2B04-14 張 譯云 筑波大学生命環境学群  
「自家蛍光シグネチャー解析による微生物の生死判別及び死因の推測」
- 4B02-03 吉村萌梨 九州大学農学部  
「自家熱型高温好気消化液から植物成長促進・抗植物病原性を持つ有用微生物の分離と検証」
- 2A01-09 黒田浩一 京都大学大学院農学研究科  
「窒素飢餓ストレス応答の制御による酵母の分岐鎖アルコール耐性の向上と耐性機構の解明」
- 3C01-03 白田隆亮 信州大学工学部  
「細菌細胞内pHモニタリングシステムを利用した大腸菌長期定常期のリアルタイム細胞内pH測定」
- 2A03-02 清野峻彦 九州大学大学院農学研究院  
「日本人とインドネシア人の乳幼児の腸内メタゲノム比較解析」
- 4A01-07 平山智弘 筑波大学生命環境科学  
「一細胞自家蛍光シグネチャーに基づく非破壊的な油脂生産性の予測」
- 2B04-10 佐竹遼子 キッコーマン株式会社研究開発本部  
「しょうゆ麹菌を用いたエルゴチオネインの高発酵生産」

- 4A01-10 児島征司 パナソニック株式会社  
「外膜脱離型シアノバクテリア細胞は農作物生産を増進させる物質群を分泌生産する」
- 3J07-10 中村篤央 協同乳業株式会社研究所  
「腸内細菌叢と宿主の共役的なポリアミン代謝は大腸の上皮増殖とマクロファージ分化を調節する」
- 2H07-16 朝妻知子 東京医科大学医学部  
「サリドマイド催奇性を担うCRL4<sup>CRBN</sup>のネオ基質の同定」
- 2H07-17 岩崎崇 鳥取大学農学部  
「熱帯熱マラリア原虫が産生するHistidine-rich protein 2の病原性メカニズムの解明」
- 3H04-01 松井健二 山口大学大学院創成科学研究科  
「植物葉を傷つけるとみどりの香りを急激に生成する仕組みは進化過程でいつどのように獲得されたのか？」
- 2H02-14 中澤利恵 滋賀県立大学環境科学部  
「切り花の鮮度保持におけるナノバブルの作用機構」
- 4I01-06 今野浩太郎 農業・食品産業技術総合研究機構  
「植物は毒針（針効果）で昆虫を撃退する？—シウ酸カルシウム針状結晶が植物防御タンパク質・物質の働きを劇的に増強する相乗効果」
- 3H07-11 宮下孝洋 東北大学大学院工学研究科  
「大腸菌のパスウェイエンジニアリングによるモノテルペノイド高生産系の構築」
- 3I06-11 大坪嘉行 東北大学大学院生命科学研究科  
「新型コロナウイルスを認識するDNAアプタマーの作製と迅速検出法の構築」
- 3) ジュニア農芸化学会（高校生による研究発表会）の開催  
ジュニア農芸化学会（高校生による研究発表会）は2021年度大会期間中の2021年3月19日にオンライン形式にてポスター発表（84題・84校）が開催された。
- 4) 第28回農芸化学Frontiersシンポジウムの開催  
第28回農芸化学Frontiersシンポジウムは2021年3月21日にオンライン形式（Zoomウェビナー）にて開催、オンライン懇親会はSpatialChatを利用して開催された。
- 5) 第47回農芸化学「化学と生物」シンポジウムの開催  
第47回農芸化学「化学と生物」シンポジウムは「農芸化学の目から食の役割を考える」というタイトルで、2021年3月21日にオンライン形式（Zoomウェビナー）にて開催された。
- 6) 分野融合連携シンポジウムの開催  
分野融合連携シンポジウムは2021年度大会では開催がなかった。
- 7) サイエンスカフェの開催  
\*1日本学術会議農芸化学分科会と共催、\*2京都カラスマ大学と共催
- 1 [第135回]\*<sup>1</sup>（鳥取）2021年6月26日「鳥取のおいしい地域資源～ローカル酵母と梨ポリフェノール～」(鳥取大学広報センター内 Community Design Lab) 講師：児玉基一郎氏 コーディネータ：有馬二郎氏 参加者：45名
- 2 [第136回]\*<sup>1</sup>（福島）2021年12月5日「リケ女と科学を語ろうーあんぽ柿の美味しさと健康への秘密・研究の楽しさも語りますー」(コラッセふくしま, Zoomによるオンライン開催とのハイブリッド開催) 講師：鹿野仁美氏 コーディネータ：平修氏 参加者：43名
- 3 [第137回]\*<sup>1</sup>（東京）2021年12月18日「お米で糖尿病予防!?!」(Zoomによるオンライン開催) 講師：熊谷日登美氏 コーディネータ：若林素子氏 参加者：33名
- 4 [第138回]\*<sup>1</sup>（福岡）2021年12月25日「乳酸菌が作る抗菌物質・バクテリオシン」(福岡市科学館) 講師：善藤威史氏 コーディネータ：本城賢一氏 参加者：19名
- 5 [第139回]\*<sup>2</sup>（京都）2022年1月8日「日本酒造りの謎に迫る！～清酒酵母×サイエンスの世界～」(サカタニ集西楽) 講師：渡辺大輔氏 コーディネータ：京都カラスマ大学、由里本博也氏 参加者：22名
- 8) 産学官学術交流フォーラムの開催  
産学官学術交流フォーラムは、2021年3月21日にオンライン形式にて開催された。  
・第18回農芸化学研究企画賞研究企画発表会  
・第1回夢にチャレンジ企画賞ピッチコンテスト  
・第17回農芸化学研究企画賞中間報告会  
・第16回農芸化学研究企画賞最終報告会  
・シンポジウム「With/Post コロナ時代における、国内バイオベンチャーが描く成長戦略」  
・第1回夢にチャレンジ企画審査結果発表
- 9) 産学官若手交流会（さんわか）セミナーの開催  
産学官若手交流会（さんわか）セミナーは以下の通り1回開催した。
- 1 [第37回] 生命科学のDX：農化系ラボのデジタル展開を探る（2022年1月21日、Zoomウェビナー配信、聴講者数約200名）
- 10) 創立100周年記念事業シリーズシンポジウムの開催  
創立100周年記念事業シリーズシンポジウムとして、Visionary農芸化学100シンポジウムを下記のとおり2回開催した。
- 1 [Group D：食品機能研究領域 第2回シンポジウム]「新たな発見・発想から得られた食品成分の新規機能性の解明～ひらめきのヒント～」(2021年5月22日、Web開催、聴講者数292名)
- 2 [Group A：食・腸内細菌・健康研究領域 第3回シンポジウム]「健康長寿社会に向けての腸内細菌科学の新展開」(2021年9月18日、Web開催、聴講者数第1部251名、第2部および第3部275名)
- 11) 各支部の講演会等の開催  
北海道支部（2件）  
・2021年度 日本農芸化学会北海道支部第1回学術講演会（Web開催、7月24日）

- ・2021年度 日本農芸化学会北海道支部第2回学術講演会 (北海道大学・ハイブリッド開催, 2021年12月11日～12日)
  - 東北支部 (2件)
    - ・2021年度 支部シンポジウム「地域を担う農芸化学と産学連携」(Web開催, 岩手生物工学研究センター, 6月26日)
    - ・2021年度 第156回支部大会 (Web開催, 山形大学, 10月9日)
  - 関東支部 (3件)
    - ・2021年度支部大会 (Web開催, 8月28日)
    - ・2021年度企業イベント～企業で活躍する先輩からのメッセージ～ (Web開催, 11月6日)
    - ・2021年度支部例会 (Web開催, 11月27日)
  - 中部支部 (3件)
    - ・第189回例会 受賞講演およびミニシンポジウム「ケミカルバイオロジーの最前線」(Web開催, 福井県立大学, 6月12日)
    - ・第190回例会 受賞講演およびミニシンポジウム「バイオインフォマティクスが拓く新しい農芸化学」, 一般口頭発表 (Web開催, 名古屋大学, 9月18日)
    - ・第191回例会 受賞講演およびミニシンポジウム「土壌微生物の潜在能力の開発」(静岡大学・ハイブリッド開催, 11月20日)
  - 関西支部 (7件)
    - ・支部例会 (第515回講演会) (Web開催, 京都府立大学, 6月5日)
    - ・支部例会 (第516回講演会) (Web開催, 大阪府立大学, 7月10日)
    - ・2021年度西日本・中四国・関西支部合同大会 (第517回講演会) (Web開催, 9月24日～25日)
    - ・JSBBA KANSAI 8th Student Forum (Web開催, 11月6日)
    - ・支部例会 (第518回講演会) (神戸大学・ハイブリッド開催, 12月4日)
    - ・賛助企業-学生交流企画「第7回もっと知ろう賛助企業」(Web開催, 2月5日)
    - ・支部例会 (第519回講演会) (Web開催, 京都大学, 2月5日)
  - 中四国支部 (2件)
    - ・2021年度 西日本・中四国・関西支部合同大会 (第60回講演会) (Web開催, 9月24日～25日)
    - ・第61回講演会 (例会) (Web開催, 1月22日)
  - 西日本支部 (5件)
    - ・令和3年度日本農芸化学会西日本支部例会 (第335回講演会) (Web開催, 6月11日)
    - ・第58回化学関連支部合同九州大会 (第336回講演会) (Web開催, 7月3日)
    - ・2021年度西日本・中四国・関西支部合同大会 (第337回講演会) (Web開催, 9月24日～25日)
    - ・第4回学生フォーラム (第338回講演会) (Web開催, 12月11日)
    - ・令和3年度日本農芸化学会西日本支部例会 (第339回講演会) (Web開催, 1月29日)
- (3) 表彰を通じて農芸化学の普及啓発・発展を目的とする事業**
- 1) 2021年度日本農芸化学会賞, 日本農芸化学会功績賞, 農芸化学技術賞, 農芸化学奨励賞, 農芸化学女性研究者賞, 農芸化学若手女性研究者賞, 農芸化学女性企業研究者賞を下記のとおり表彰した.
- 【日本農芸化学会賞】**(2件, 50音順)
- 中山 亨 (東北大学大学院工学研究科)  
「植物フラボノイドの生合成と構造的多様性に関する酵素科学的研究」
- 松田一彦 (近畿大学農学部)  
「昆虫の神経イオンチャネルと除虫菊によるピレスリン生合成の制御に関する化学生物学的研究」
- 【日本農芸化学会功績賞】**(2件, 50音順)
- 稲垣賢二 (岡山大学大学院環境生命科学研究科)  
「微生物由来の産業用酵素の探索, 構造機能解析とバイオテクノロジーへの応用」
- 吉村 徹 (名古屋大学大学院生命農学研究科)  
「アミノ酸代謝関連酵素の分子基盤と機能開発」
- 【農芸化学技術賞】**(3件, 50音順)
- 釜阪 寛・田中智子・滝井 寛 (江崎グリコ株式会社)  
「菌の修復およびその加速化に関する革新的技術開発」
- 首藤正彦・古川美子・伊賀瀬道也・福田直大 (株式会社えひめ飲料, 松山大学薬学部, 愛媛大学医学部, 愛媛県経済労働部)  
「河内晩柑の機能性を活かし中高年者の認知機能維持に貢献する果汁飲料の開発」
- サッポロビール株式会社  
「ビール製造工程の微生物管理向上への一貫した取り組み」
- 【農芸化学奨励賞受賞】**(10件, 50音順)
- 石橋洋平 (九州大学大学院農学研究院)  
「新規脂質代謝酵素および制御因子に関する生物横断的研究」
- 伊藤晋作 (東京農業大学生命科学部)  
「作物根寄生生物による宿主植物認識機構の制御」
- 伊藤智和 (名古屋大学大学院生命農学研究科)  
「高度に保存されたビタミン B6結合タンパク質の機能解析と応用展開」
- 小倉由資 (東京大学大学院農学生命科学研究科)  
「顕著な生物活性を有する芳香族および含酸素環式天然有機化合物に関する合成化学的研究」
- Thanutchaporn Kumrungsee (広島大学大学院統合生命科学研究科)

- 「ヒスチジン含有機能性ペプチドの探索, および応用研究」  
黒木勝久 (宮崎大学農学部)
- 「生物進化に伴った硫酸転移酵素機能の多様性に関する研究」  
佐藤道大 (静岡県立大学薬学部)
- 「酵素的 [4+2] 環化付加反応の分子機構の解明」  
田代陽介 (静岡大学大学院工学領域)
- 「細菌が生産する小胞の機能と形成機構に関する研究」  
二神泰基 (鹿児島大学農学部附属焼酎・発酵学教育研究センター)
- 「白麹菌のクエン酸高生産機構に関する研究」  
丸田隆典 (島根大学学術研究院農生命科学系)
- 「植物環境順応におけるアスコルビン酸と活性酸素種の相互作用に関する研究」  
【農芸化学女性研究者賞】(3件, 50音順)
- 豊島由香 (お茶の水女子大学ヒューマンライフイノベーション研究所)
- 「タンパク質栄養状態の悪化によって稼働する肝脂質蓄積機構に関する研究」  
藤田直子 (秋田県立大学生物資源科学部)
- 「イネの澱粉生合成メカニズムの解明から機能性や異なる食感を付与した米品種の開発」  
柳瀬笑子 (岐阜大学応用生物科学部)
- 「発酵茶製造時におけるカテキン類の酸化重合反応に関する研究」  
【農芸化学若手女性研究者賞】(3件, 50音順)
- 乙木百合香 (東北大学大学院農学研究科)
- 「神経変性疾患の予防法開発に向けたプラズマローゲンの機能解明」  
堀 千明 (北海道大学大学院工学研究院)
- 「植物バイオマス分解利用に関する基礎研究」  
山田千早 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
- 「ヒト・動物の腸内に生息する嫌気性細菌の代謝機能に関する研究」  
【農芸化学女性企業研究者賞】(3件, 50音順)
- 内田 (丸木) 裕子 (森永製菓株式会社研究所)
- 「ポリフェノールの機能性研究とその商品応用」  
土橋英恵 (株式会社 明治 乳酸菌研究)
- 「生乳由来乳酸菌に関する研究」  
宮崎絹子 (ハウス食品グループ本社株式会社)
- 「油脂中のリスク物質の新規分析法開発とその応用」  
2) 第18回農芸化学研究企画賞を下記のとおり表彰した。
- 岡島俊英 (大阪大学産業科学研究所)
- 「多剤耐性細菌感染治療に有効な次世代型抗菌薬の開発」  
田上貴祥 (北海道大学大学院農学研究院)
- 「ブタ血液を原料とする酵素製剤の開発と糖尿病治療薬研究への応用」  
野中健一 (北里大学大村智記念研究所微生物資源研究センター)
- 「昆虫疑似感染モデルを利用した昆虫寄生菌類分離法の確立と殺虫剤リード化合物の探索」  
3) 2020年B.B.B.論文賞(11件)を下記のとおり表彰した。
- pp. 31-36 Sayuki Oka, Ryo Kuniba, Nozomi Tsuboi, Sayaka Tsuchida, Kazunari Ushida, Shusuke Tomoshige & Kouji Kuramochi
- Isolation, synthesis, and biological activities of a bibenzyl from *Empetrum nigrum* var. *japonicum*
- pp. 118-125 Tatsuya Nishiyama, Woro Triarsi Sulistyaningdyah, Kenji Ueda & Hitoshi Kusakabe
- GABA enzymatic assay kit
- pp. 305-313 Mari Iwase, Shoko Sakai, Shigeto Seno, Yu-Sheng Yeh, Tony Kuo, Haruya Takahashi, Wataru Nomura, Huei-Fen Jheng, Paul Horton, Naoki Osato, Hideo Matsuda, Kazuo Inoue, Teruo Kawada & Tsuyoshi Goto
- Long non-coding RNA 2310069B03Rik functions as a suppressor of Ucp1 expression under prolonged cold exposure in murine beige adipocytes
- pp. 421-427 Atsushi Shigeto, Atsushi Wada & Kenji Kumazawa
- Identification of the novel odor active compounds “p-menthane lactones” responsible for the characteristic aroma of fresh peppermint leaf
- pp. 734-742 Mayu Suzuki, Kairi Koubara, Mihoko Takenoya, Kazuhiro Fukano, Shinsaku Ito, Yasuyuki Sasaki, Akira Nakamura & Shunsuke Yajima
- Single amino acid mutation altered substrate specificity for L-glucose and inositol inoscylo-inositol dehydrogenase isolated from *Paracoccus laeviglucoovorans*
- pp. 764-773 Yusuke Okamoto, Maiko Tomioka, Fumihiko Ogasawara, Kota Nagaiwa, Yasuhisa Kimura, Noriyuki Kioka & Kazumitsu Ueda
- C-terminal of ABCA1 separately regulates cholesterol floppase activity and cholesterol efflux activity
- pp. 936-942 Junko Ohki, Akihiko Sakashita, Eitaro Aihara, Akihiko Inaba, Hironobu Uchiyama, Masahito Matsumoto, Yuzo Ninomiya, Takumi Yamane, Yuichi Oishi & Ken Iwatsuki

- Comparative analysis of enteroendocrine cells and their hormones between mouse intestinal organoids and native tissues  
pp. 1062-1068 Tomoyuki Takeya, Miyabi Yamakita, Daisuke Hayashi, Kento Fujisawa, Yasuyoshi Sakai & Hiroya Yurimoto  
Methanol production by reversed methylo-trophy constructed in *Escherichia coli*  
pp. 1250-1258 Reiko Nagasaka, Hazuki Nakachi, Yuka Onodera, Yuki Ishikawa & Toshiaki Ohshima  
Leptin promotes the fat preference associated with low-temperature acclimation in mice  
pp. 1475-1485 Masaki Asano, Fumika Nakano, Eriko Nakatsukasa & Tsuyoshi Tsuduki  
The 1975 type Japanese diet improves the gut microbial flora and inhibits visceral fat accumulation in mice  
pp. 1706-1713 Satomi Hirai & Toshiyuki Kawasumi  
Enhanced lactic acid bacteria viability with yeast coin-cubation under acidic conditions
- 4) Most-Cited Paper Award を下記のとおり表彰した (1件, 被引用回数16回).  
Vol. 82 No. 1, pp. 31-41  
Hiroe Aoyama, Hiroshi Sakagami & Tsutomu Hatano  
Three new flavonoids, proanthocyanidin, and accompanying phenolic constituents from *Feijoa sellowiana*
- 5) Most-Cited Review Award を下記のとおり表彰した (1件, 被引用回数22回).  
Vol. 82, No. 4, pp. 584-599  
Satoshi Hachimura, Mamoru Totsuka & Akira Hosono  
Immunomodulation by food: impact on gut immunity and immune cell function
- 6) 第1回夢にチャレンジ企画賞は下記の通り表彰した.  
木村駿太 (東京大学大学院農学生命科学研究科・特別研究員)  
「惑星保護方針を満たす宇宙農業を目指した陸棲シアノバクテリアの生活環の人為的な制御研究」  
来馬道生 (明治大学大学院農学研究科・学生), 鈴木泰輝 (明治大学農学部農芸化学科・学生)  
「トリプトファン誘導体を利用した新規根寄生植物自殺発芽誘導剤の開発」  
古賀 碧 (崇城大学生物生命学部応用生命科学専攻細胞工學講座・院生 (博士課程2年))
- 「海産性光合成細菌のクルマエビ養殖における病害抑制・成長促進効果の研究」  
小塚康平 (静岡県立大学大学院・学生 (修士1年))  
「世界中の応用酵素を創り変える」  
二橋佑磨 (信州大学大学院総合医理工学研究科 総合理工学専攻・博士課程2年)  
「骨形成型オリゴDNAによる骨リモデリング制御の基盤研究」  
山田祥平 (東京薬科大学生命科学研究科・学生 (博士後期課程2年))  
「微生物触媒を用いた電気と空気からの持続的物質生産」
- 7) 2021年企業研究者活動表彰受賞者を下記のとおり表彰した (7名).  
酒瀬川信一 (旭化成ファーマ株式会社)  
中田勇二 (味の素株式会社)  
小境敏揮 (霧島酒造株式会社)  
寺本華奈江 (株式会社島津製作所)  
井出曜子 (株式会社デンソー)  
加川雄介 (東レ株式会社)  
中島綾香 (株式会社ユーグレナ)
- 8) 2021年度, 支部における各賞を下記のとおり表彰した.  
【日本農芸化学会北海道支部 奨励賞】1件  
重富顕吾 (北海道大学大学院農学研究院)  
「構造活性相関による天然生理活性物質の機能解明」  
【日本農芸化学会北海道支部 学生会員奨励賞】2件  
堀越 秀 (北海道大学大学院農学院)  
「植物GH1 $\beta$ -グルコシダーゼの機能構造相関に関する研究」  
瀧野純矢 (北海道大学大学院総合化学院)  
「糸状菌天然物における骨格構築酵素の機能解析」  
【2021年度 日本農芸化学会北海道支部第1回学術講演会 日本農芸化学会北海道支部 学生優秀発表賞】3件  
原田和馬 (北大院農)  
「ラットにおけるカルシウムによる食欲抑制に対する食事組成の影響」  
堀越 秀 (北大院農)  
「シロイヌナズナ由来GH1 $\beta$ -グルコシダーゼ AtBGluc42の基質特異性とその分子基盤」  
横山史佳 (北大院農)  
「12 $\alpha$ 水酸化胆汁酸によるラット肝脂質蓄積におけるリポタンパク質代謝の変化」  
【2021年度 日本農芸化学会北海道支部第2回学術講演会 日本農芸化学会北海道支部 学生優秀発表賞】2件  
門脇 廉 (東京農業大学大学院生物産業研究科)  
「酪酸産生菌 *Anaerostipes* spp. の芽胞形成に関する研究」  
泉 しずく (北大院農)  
「グルコース1-リン酸をリン酸基供与体としたATP再生反応とそれを利用したオリゴ糖合成」  
【日本農芸化学会 東北支部 奨励賞】2件  
高岡洋輔 (東北大学大学院理学研究科)

- 「ジャスモン酸シグナルを解析するペプチド型ケミカルツールの開発」  
前多隼人（弘前大学農学生命科学部）  
「疾患の予防に役立つ東北地域の食料資源の探索」  
【日本農芸化学会 東北支部 若手奨励賞】2件  
前野優香理（東北大学大学院農学研究科）  
「神経興奮物質カイノイド類の生合成経路の解明と生合成を利用した類縁体生産」  
Afifah Zahra Agista（東北大学大学院農学研究科）  
「炎症モデルを用いた発酵米糠およびインドール化合物の健康機能性に関する研究」  
【日本農芸化学会関東支部 優秀発表賞】8件  
浅野風斗<sup>1</sup>，宮本浩邦<sup>1,2,3,4</sup>，坪井重里沙<sup>3</sup>，大野博司<sup>2</sup>，  
児玉浩明<sup>1</sup>（<sup>1</sup>千葉大院・園芸，<sup>2</sup>理研・IMS，<sup>3</sup>(株)日環科学，<sup>4</sup>(株)サーマス）  
「好熱菌発酵産物の給与によるカプトムシ幼虫肥大化と腸内細菌叢の変化」  
高島優季<sup>1</sup>，石川和樹<sup>1</sup>，宮脇里奈<sup>1</sup>，小川真奈<sup>1</sup>，石井剛志<sup>2</sup>，  
三坂 巧<sup>1</sup>，小林彰子<sup>1</sup>（<sup>1</sup>東大院・農生科・応生化，<sup>2</sup>神戸学院大栄）  
「テアフラビンが胆汁酸吸収トランスポーター活性に与える影響」  
須藤瑠璃子，関 真太郎，今村優作，喜久里貢，宮川拓也，  
中村英光，浅見忠男（東大院・農生科・応生化）  
「根寄生雑草ストライガの機能未知受容体の機能解析を目的としたトリアゾールウレア型特異的阻害剤の探索」  
岩井南会子<sup>1</sup>，南雲陽子<sup>2</sup>，高橋壯太郎<sup>3</sup>，工藤史貴<sup>3</sup>，江口正<sup>3</sup>，  
白井健郎<sup>2</sup>（<sup>1</sup>筑波大・理工情報生命，<sup>2</sup>筑波大・生命環境，<sup>3</sup>東工大・理学院）  
「Hitachimycin による出芽酵母細胞膜障害」  
大岡海斗<sup>1</sup>，中西啓介<sup>1</sup>，市川善康<sup>2</sup>，細川誠二郎<sup>1</sup>（<sup>1</sup>早大院・  
先進理工・応化，<sup>2</sup>高知大・理）  
「ボネラタミドBおよびCの全合成と構造決定」  
野口智弘<sup>1</sup>，西山 真<sup>1,2</sup>，葛山智久<sup>1,2</sup>（<sup>1</sup>東大院・農生科・  
応生化，<sup>2</sup>東大・微生物連携機構）  
「放線菌のメロテルペノイド生合成に見出された新規窒素代謝に関する研究」  
佐藤 僚，橋本研志，朽津和幸，古屋俊樹（東京理科大  
院・理工）  
「コマツナ内生菌 *Delftia* sp. BR1R-2 株の植物免疫活性化成分の解析」  
前田典歩<sup>1,2</sup>，土肥裕希<sup>1,2</sup>，高谷直樹<sup>1,2</sup>（<sup>1</sup>筑波大・生命環境，  
<sup>2</sup>筑波大・微生物サステイナビリティ研究センター）  
「細菌によるルマジン分解機構の解明」  
【日本農芸化学会中部支部 第190回例会 企業奨励賞（優秀発表賞）】3件  
堀沙那恵（三重大学大学院生物資源学研究科生物圏生命科学専攻）  
「シラナーゼ BcXyn26A の機能解析」  
田中優月（三重大学大学院生物資源学研究科生物圏生命科学専攻）  
「固定化酵素技術を用いた希少糖 DEH 生産システムの開発」  
川口友輔（名古屋大学大学院創薬科学研究科基盤創薬学専攻）  
「マウス羊水中に存在する表皮細胞分化制御因子の精製」  
【日本農芸化学会中部支部 第190回例会 学術奨励賞（優秀発表賞）】5件  
大塚茉代（名古屋大学大学院創薬科学研究科基盤創薬学専攻）  
「分裂酵母の新規寿命関連因子の同定と機能解析」  
古田島美颯（静岡大学自然科学系教育部バイオサイエンス専攻）  
「植物成長抑制物質 ICA が関与する新しいメチル化機構の可能性」  
堀沙那恵（三重大学大学院生物資源学研究科生物圏生命科学専攻）  
「ヒト腸内細菌 *Bacteroides cellulosilyticus* 由来  $\beta$ -1,3-キシラナーゼ BcXyn26A の機能解析」  
須藤雅己（信州大学大学院総合理工学研究科生命医工学専攻）  
「細菌細胞内 pH 測定システムを利用した酸性条件下における大腸菌細胞内 pH 調節機構の解明」  
竹村太秀（静岡大学創造科学技術大学院自然科学系教育部バイオサイエンス専攻）  
「フェアリー化合物の生合成に関わる新規プリン代謝」  
【日本農芸化学会関西支部 第515回講演会 優秀発表賞（支部長推薦）】1件  
大林健人（京府大院・生命環境）  
「ペクチン含有炭酸水の胃腸拡張による GLP-1 分泌促進と摂食リズム異常改善作用」  
【日本農芸化学会関西支部 第515回講演会 優秀発表賞（賛助企業推薦）】1件  
木村風香（京府大院・生命環境）  
「*Caenibacillus caldisaponilyticus* B157T 株由来の組換えホスホリパーゼ A1 (rPlaA) の諸性質解析と基質認識機構の解明」  
【日本農芸化学会関西支部 第516回講演会 優秀発表賞（支部長推薦）】1件  
末永真友菜（阪府大院・生命環境）  
「植物保護細菌 *Pseudomonas protegens* が産生する protegenin 類の単離・構造決定と生物活性評価」  
【日本農芸化学会関西支部 第518回講演会 優秀発表賞（支部長推薦）】1件  
鈴木崇真（奈良先端大・バイオ）  
「日和見感染真菌 *Candida glabrata* におけるリボフラビン合成初発酵素 GTP cyclohydrolase II の機能解析」  
【日本農芸化学会関西支部 第518回講演会 優秀発表賞（賛助企業推薦）】1件  
廣直賢勇（神大院・農）  
「黒大豆ポリフェノールの食欲調節を介した肥満抑制効果」



【日本農芸化学会関西支部 第519回講演会 優秀発表賞 (支部長推薦)】1件

瀬良早香 (京大院・農)

「人工知能を用いたパンの新規物性解析法の開発」

【日本農芸化学会関西支部 第519回講演会 優秀発表賞 (賛助企業推薦)】1件

黒岩秀崇 (京大院・農)

「サネカズラ属生薬植物由来の抗HIV活性トリテルペノイド・Lancilactone Cの不斉全合成研究」

【日本農芸化学会中四国支部 功労賞】4件

大西浩平 (高知大学総合科学系教授)

川向 誠 (島根大学学術研究院農生命科学系教授)

木村吉伸 (岡山大学学術研究院環境生命科学学域教授)

渡邊文雄 (鳥取大学農学部教授)

【日本農芸化学会中四国支部 技術賞】1件

丸 勇史, 瓜生圭介, 若松淳一郎, 佐藤加奈恵 (備前化成株式会社)

「腸管内送達による機能性向上を目指した食品製剤の開発」

【日本農芸化学会中四国支部 奨励賞】1件

片岡尚也 (山口大学大学院研究推進機構)

「有用物質生産菌の代謝に関する多角的研究」

【日本農芸化学会中四国支部 奨励賞 (学生部門)】37件

大川敦司 (岡山大学大学院環境生命科学研究科)

見崎裕也 (広島大学大学院統合生命科学研究科)

木俣実乃里 (岡山大学大学院環境生命科学研究科)

森田翔太 (岡山理科大学大学院 理学研究科)

大屋卓博 (島根大学大学院自然科学研究科)

田中淑乃 (鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科)

吉村俊祐 (鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科)

植野実佐子 (徳島大学大学院創成科学研究科)

高崎 廉 (徳島大学大学院創成科学研究科)

原田春菜 (山口大学大学院 創成科学研究科)

八澤菜央 (広島大学大学院統合生命科学研究科)

中里光希 (広島大学大学院統合生命科学研究科)

三浦妃奈子 (愛媛大学大学院農学研究科)

堀口 星 (岡山大学農学部農芸化学コース)

宮本菜柚 (香川大学農学部)

横山みなみ (香川大学農学部)

有年梨沙子 (鳥取大学農学部)

新谷亜蘭 (鳥取大学農学部)

倉敷馨子 (米子工業高等専門学校)

中西浩太郎 (岡山大学薬学部)

桑村真由 (岡山県立大学保健福祉学部)

林 幸奈 (くらしき作陽大学食文化学部)

芝美優香 (愛媛大学農学部)

檜谷侑太郎 (徳島大学生物資源産業界学部)

葭田 快 (徳島大学生物資源産業界学部)

坂本真子 (山口大学農学部)

仲村実紅乃 (山口大学理学部)

中村仁美 (山口大学工学部)

柴田喜子 (水産大学校食品科学科)

松本歩美 (山口県立大学看護栄養学部)

河野真夢 (宇部工業高等専門学校物質工学科)

大嶋杏実 (宇部フロンティア大学短期大学部)

花岡和樹 (広島大学生物生産学部)

福田将太 (広島大学工学部)

松田倭奈 (近畿大学工学部)

大成冬真 (高知大学農林海洋科学部)

山本美桜 (高知工科大学環境理工学群)

【日本農芸化学会西日本支部 第336回講演会 優秀発表賞】9件

杉本憲亮 (九大院・生資環)

「黄麹菌 *Aspergillus oryzae* における後期エンドソームに関わる Rab GTPase の解析」

廣段潤一郎 (九大院・生資環)

「バクテリオシントランスポーターの基質寛容性の比較解析」

庄野陸太 (九大院・生資環)

「様々な分離源からの新奇バクテリオシン生産乳酸菌の探索」

長岡未久 (九大院・生資環)

「好熱性繊維状ファージの増殖における分子機構及び遺伝子機能」

甲斐友教 (九工大院・生命体工)

「大腸菌のパーシスター形成に対するヒドロゲナーゼの機能の解明」

川上 舞 (九大院・生資環)

「ウーロン茶ポリフェノールの抗メラノーマ作用メカニズム」

相馬彩乃 (九大院・生資環)

「3-(4-hydroxy-3-methoxyphenyl)propionic acid のラット血中での吸収挙動の解明」

園田健登 (鹿大院・連農)

「既存HIF活性化剤と基本骨格が異なる新規ピラゾリン系化合物の機能性評価」

川本礼乃 (九大院・生資環)

「緑茶カテキン EGCG の作用を模倣する抗腫瘍DNA ワクチンの開発」

【2021年度西日本・中四国・関西支部合同大会 優秀発表賞】17件

〈博士の部〉

井上貴斗 (京大院・農)

「ヤマカガシにおけるヒキガエル由来毒素変換能力の多様性」

馬場嵩一郎 (鹿大・連合農)

「リンゴ酸高生産酵母の醸造特性評価および変異遺伝子の探索」

- 丸亀裕貴 (九大院・生資環)  
「ゴマリグナンによるグルタチオン S-トランスフェラーゼ活性化機構の解明」
- 三俣好令 (岡山大院・環境生命)  
「リンゴ酸が誘導する気孔閉口のシグナル伝達機構の解明」  
〈修士の部〉
- 岩川晃久 (立命大院・生命)  
「D-アミノ酸酸化酵素により調製したケト酸とヒドロキシルアミンとの縮合によるアミド化合物の合成」
- 大藪 葵 (京府大院・生命環境)  
「骨格筋における転写因子 FOXO1 の標的遺伝子の同定と FOXO1 とユビキチン-プロテアソーム系を繋ぐ因子の解析」
- 岡本沙樹 (熊本県大院・環境共生)  
「組換え *Cupriavidus necator* による高性能バイオプラスチックの生合成」
- 古原優希 (広島大院・統合生命)  
「メチオニン代謝産物は酵母と線虫の寿命を延長する」
- 児安剛志 (九大院・生資環)  
「細菌の持つ最小タンパク質型 RNase P のクライオ電子顕微鏡解析」
- 里 圭太 (鹿児島大院・農)  
「天然資源由来新規アジュバント機能成分の探索および組換えタンパク質による新規アジュバント分子の開発」
- 恒吉研志 (九大院・生資環)  
「ATAD プロセスにおける難培養主要好熱細菌の集積・分離」
- 寺田璃南 (阪府大院・生命環境)  
「*Collimonas fungivorans* が産生するポリイン collimonin 類の生合成研究」
- 中野 悠 (宮崎大・農)  
「ヒト Sulfatase によるポリフェノール脱抱合反応解析」
- 中本 博 (京大院・農)  
「定常期における *Bacillus subtilis* の細胞空洞化現象とその意義」
- 古居優季 (神院大院・栄養)  
「渋味飲料による脂っこさのリセット作用の科学的検証」
- 三浦妃奈子 (愛媛大院・農)  
「イソチオシアネートによる根寄生雑草の発芽刺激性」
- 三河大倫 (愛媛大院・農)  
「モノフルオロエチル基を有するイミダクロプリド類緑体の立体選択的合成と生物活性評価」  
【日本農芸化学会西日本支部 第338回講演会 優秀発表賞】3件
- Nweke Arinze Boniface (Grad. Sch. Biosci. Biotechnol. Sci., Kyushu Univ.)  
“Modulation of arabinogalactan protein by salt adapted tobacco BY-2 cells”
- Kouta Jinya (Grad. Sch. Biosci. Biotechnol. Sci., Kyushu Univ.)  
“Investigation of mechanisms for cold response of *Calditerricola* sp. by RNA-seq”
- Mayu Shimbara (Grad. Sch. Biosci. Biotechnol. Sci., Kyushu Univ.)  
“The expression analysis of galactose-assimilating genes in fission yeast”  
【日本農芸化学会西日本支部 奨励賞 (学生の部)】2件
- 沖 啓輔 (九州大学大学院生物資源環境科学府)  
「超好熱性アーキアにおける DNA 複製複合体の構造及び機能解析」
- 福永嵩大 (九州大学大学院生物資源環境科学府)  
「分裂酵母におけるガラクトース含有糖鎖の生合成機構の解明」  
【日本農芸化学会西日本支部 奨励賞 (一般の部)】2件
- 熊添基文 (九州大学大学院農学研究院)  
「緑茶カテキン EGCG の cGMP を介した生体調節作用」
- 寺本岳大 (九州大学大学院農学研究院)  
「エンザイム型リボヌクレアーゼ P の構造解析」
- (4) 助成金・補助金・交付金の交付を通じて農芸化学の発展を目的とする事業
- 1) 農芸化学研究企画賞の助成 ※100周年記念事業 (一部) 第18回農芸化学研究企画賞の3件に6,000,000円、第1回 夢にチャレンジ企画賞の6件に1,800,000円を助成した。第18回農芸化学研究企画賞の助成金へ下記16社より23口の御寄附をいただいた。アサヒクオリティーアンドイノベーションズ(株)、味の素(株)、天野エンザイム(株)、(株)カネカ、キッコーマン(株)、協和発酵バイオ(株)、キリンホールディングス(株)、月桂冠(株)、サッポロビール(株)、サントリーウエルネス(株)、長谷川香料(株)、(株)明治、森永乳業(株)、ヤマサ醤油(株)、雪印メグミルク(株)、ライオン(株)
- 2) 農芸化学中小企業産学・産官連携研究助成 ※100周年記念事業 第3回農芸化学中小企業産学・産官連携研究助成の7件に6,900,000円を助成した。
- 橋本 誠・栗井浩二 (北海道大学農学部・マナビス株式会社)  
「農産物から単離可能な天然色素を利用した高付加価値化粧品の開発」1,000,000円
- 杉森大助・永石俊夫 (福島大学共生システム理工学類・INS株式会社)  
「松太郎のゲノム編集による香気コントロール」1,000,000円
- 渡辺章夫・今西孝典 (十文字学園女子大学人間生活学部・一般財団法人熊野市ふるさと振興公社)  
「熊野市特産柑橘『新姫』の肥満症予防効果の検証とその応用」1,000,000円
- 長岡 利・岡田利孝 (岐阜大学応用生物科学部・株式会社東洋発酵)

「バラポリフェノールの抗肥満作用及びコレステロール代謝改善作用に関する研究」1,000,000 円

高木博史・塚原正俊（奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科・株式会社バイオジェット）

「アミノ酸高生産酵母の育種技術を活用した泡盛の高付加価値化・ブランド化」1,000,000 円

薬師寿治・原田敏弘（山口大学大学院創成科学研究科・株式会社原田食品）

「蒟蒻芋多糖類の完全加水分解とその多様な用途開発」1,000,000 円

宮坂 均・古賀 碧（崇城大学生物生命学部・株式会社 Ciamo）

「球磨焼酎粕で培養する光合成細菌の稲作での有効性に関する検証試験」900,000 円

3) 農芸化学女性研究者チャレンジ研究助成の助成 ※100周年記念事業 第1回農芸化学女性研究者チャレンジ研究助成の3件に2,970,000円を助成した。

越阪部奈緒美（芝浦工業大学・教授）

「渋味刺激の消化管感覚神経による認識メカニズムの解明」970,000円

白須未香（東京大学大学院農学生命科学研究科・特任助教）

「嗅覚刺激による心の変化の新たな指標確立—香りに伴う表情変容解析—」1,000,000円

山田美和（岩手大学農学部応用生物化学科・准教授）

「新規組成バイオプラスチックの微生物合成を目指したモノマー供給酵素活性向上変異体の創出」1,000,000円

4) 農芸化学若手女性研究者チャレンジ研究助成の助成 ※100周年記念事業 第1回農芸化学若手女性研究者チャレンジ研究助成の3件に1,500,000円を助成した。

Kumrungsee Thanutchaporn（広島大学大学院統合生命科学研究科・准教授）

「カルノシンの筋幹細胞および筋再生における生理的役割の解明, および応用」500,000円

田中奈月（名古屋大学生命農学研究科（高等研究院）・特任助教）

「新規タンパク質SRPP はなぜ種子保存性と種子貯蔵油脂含量を向上させるのか」500,000円

根本理子（岡山大学大学院環境生命科学研究科・助教）

「ヒザラガイ類のトランスクリプトーム比較に基づく生物磁鉄鉱形成の分子基盤解明」500,000円

5) 研究奨励金, 国際会議出席費補助金の助成

#### 第49回 研究奨励金 5件2,500,000円

大神田淳子（信州大学学術研究院（農学系）・教授）

「フシコクシン誘導体の植物成長促進活性の解明と応用」500,000円

川上竜巳（徳島大学大学院社会産業理工学研究部生物資源産業学域・准教授）

「超好熱アーキアにおけるプロリン生合成酵素の同定」500,000円

近藤直純（北里大学大村智記念研究所・リサーチアシスタント）

「モデル生物カイコを用いた in vivo 評価系による農薬シード化合物の探索」500,000円

西村 明（奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科・助教）

「発酵環境におけるプロリン資化抑制機構の解明とその応用」500,000円

藤城貴史（埼玉大学大学院理工学研究科・准教授）

「活性硫黄含有アミノ酸群のシステイン脱硫黄酵素に対する作用に関する研究」500,000円

#### 第75回 国際会議出席費補助金 2件400,000円

【一般枠】1件200,000円

長 由扶子（東北大学大学院農学研究科・助教）

「ゴードン会議（海洋天然物化学）」(2022/3/6~3/11 ベンチュラ/アメリカ) 200,000円

【院生枠】1件200,000円 ※100周年記念事業

吉川達徳（京都大学大学院農学研究科・大学院生（修士2年生））

「環太平洋国際化学会議2021」(2021/12/16~12/21 ホノルル/アメリカ) 200,000円

#### 第76回 国際会議出席費補助金 1件200,000円

【院生枠】1件200,000円 ※100周年記念事業

宇津木優樹（筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群）

「EMBO ワークショップ ケミカルバイオロジー 2022」(2022/9/5~9/8 ハイデルベルク/ドイツ) 200,000円

6) 外国人等講演会の開催補助

2021年度の申請はなかった。

7) 国際シンポジウムの開催補助

2021年度の申請はなかった。

8) 藪田講演会の開催補助

2021年度の申請はなかった。

9) 藪田セミナーの開催補助

2021年度の申請はなかった。

10) 学校教育における農芸化学の普及活動の補助

2021年度の申請はなかった。

11) 中学校・高等学校への出前授業

2021年度は下記のとおり, 全3回開催した。

1 [第60回] 2021年10月8日（金）兵庫県明石市立野々池中学校

「納豆菌の酵素パワー：美味しさと消化しやすさの理由」講師：吉田健一氏（神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 教授）聴講者：生徒25名

2 [第61回] 2021年10月28日（木）千葉県成田高等学校

「小さな微生物の大きな力—人間は微生物の力を借りなければ生きられない—」講師：葛山智久氏（東京大学大学院 農学生命科学研究科分子育種学研究室 教授）聴講者：生徒35名

3 [第62回] 2021年12月23日(木) 東京都立農芸高等学校「味の不思議—その謎を解く」講師：阿部啓子氏(東京大学大学院 農学生命科学研究科応用生命化学専攻 特任教授) 聴講者：生徒66名

12) 支部所属の会員へ研究会開催のための補助

関西支部

【提案公募事業】1件

申請者：高木博史(奈良先端大・バイオ)

特別シンポジウム「日本の生化学の真骨頂～その源流とライフイノベーション～」(日本生化学会近畿支部との共催)

補助総額150,000円

13) 支部所属の学生会員へ年次大会等への参加旅費の補助  
北海道支部

日本農芸化学会2021年度大会(仙台)参加補助金

6名(そのうち新規入会学生6名) 補助総額24,000円

## 【その他の事業】

### (1) 事業活動の公開と情報発信事業

1) ホームページ及びパンフレットによる本会の活動内容等の公開(日本語版・英語版)し、日本語版の学会ホームページから誰でも検索可能できる農芸化学関連大学院の研究科一覧の更新をした。

2) ニュースメール及びSNSの活用、本会の活動内容等の逐次発信

2021年はメールアドレス登録会員向けニュースメールを43回配信した。メールアドレス登録者は2022年2月現在約6,372名である。

支部の会員に限定し、支部からの案内メールを下記のとおり配信した。

北海道支部7回、東北支部2回、関東支部7回、中部支部8回、関西支部10回、中四国支部17回、西日本支部6回。

ニュースメール、支部案内メールとは別に、学生会員を対象としたメール配信を1回配信した。

行事の開催情報をツイッターで発信した。

3) 内外の関連機関と会誌の寄贈・交換

2021年の会誌の寄贈・交換は下記のとおりである。

[和文誌の寄贈・交換] 25件(国内17件、海外8件)

国内：

・国会図書館	・農林水産省図書館
・科学技術振興機構	・工業所有権情報研修館
・国際医学情報センター	・日本化学会
・日本生化学会	・日本生物工学会
・日本地質学会	・日本薬学会
・繊維学会	・日本香料協会
・バイオインダストリー協会	・有機化学合成協会
・山陽技術振興会	・科学新聞
・インフォーママーズジャパン(株)「食品と開発」編集部	

海外：

- ・中国農業化学会(台)
- ・The British Library(英)
- ・The Science Library Science Museum(英)
- ・Library Chinese Academy of Agricultural Sciences(中)
- ・The Library of Chinese Academy of Sciences(中)
- ・Chemical Abstracts Service(米)
- ・USDA National Agricultural Library(米)
- ・Russian Academy of Sciences Library(露)

[英文誌の寄贈・交換] 14件(国内4件、海外10件)

国内：

- ・国会図書館
- ・科学技術振興機構
- ・工業所有権情報研修館
- ・日本薬学会

海外：

- ・The British Library(英)
- ・China National Chemical Information Center(中)
- ・Library Chinese Academy of Agricultural Sciences(中)
- ・The Library of Congress Asian Middle Eastern division(米)
- ・The Institute of Scientific Information Russia Academy of Sciences(露)
- ・Russian Academy of Sciences Library(露)
- ・The Library Publications & Information Directorate(印)
- ・Institute of Organic Chemistry & Biochemistry(チェコ)
- ・Agricultural Science in Finland(フィンランド)
- ・I.N.R.A.C.R.de Jouy-en-Josas Domainede VilvertUnite Centrale de Documentation(仏)

4) フェロー制度を活用、本会の発展に顕著な貢献をなした正会員の功績を称えるとともに、本会の更なる発展へ向けての活動を囑する。

2021年度新たな承認はなかった。現在98名の承認者となっている。

[2014～2018年度承認98名]

麻田恭彦、浅野泰久、安達修二、阿部啓子、安部康久、池田郁男、伊藤幸成、稲垣賢二、井上國世、植田和光、内海俊彦、内海龍太郎、生方 信、裏出令子、江坂宗春、遠藤銀朗、大澤俊彦、大島敏久、大東 肇、長田裕之、小鹿 一、尾添嘉久、小田耕平、加藤陽治、加納健司、上村一雄、河合富佐子、河岸洋和、川端 潤、神崎 浩、木曾 真、北本勝ひこ、木村 誠、工藤俊章、久原 哲、熊谷日登美、河野憲二、後藤俊男、小林哲夫、駒井三千夫、五味勝也、小山泰二、齋藤忠夫、沢村正義、重岡 成、清水(肖)金忠、新免芳史、水光正仁、須貝 威、菅沼俊彦、關谷次郎、園元謙二、平 秀晴、田中啓司、田之倉優、土屋英子、寺尾純二、徳田 元、戸坂 修、中野長久、中村保典、西田律夫、早川 茂、林 英雄、原 博、深見治一、福田恵温、福田雅夫、伏木 亨、藤田泰太郎、古川謙介、前島正義、牧 正敏、正木春彦、松井博和、松尾憲忠、松下一信、松田 讓、松本正吾、宮川都吉、宮澤陽夫、三輪清志、三輪 操、村田幸作、森 信寛、

柳田晃良, 山田耕路, 山田 守, 山根久和, 山本憲二,  
山本万里, 横井川吹己男, 横関健三, 横田明穂, 横田孝雄,  
吉澤結子, 吉田 稔, 依田幸司

## (2) 関連学協会, 産業界, 官界等との連携・協力の推進事業

- 1) 日本学術会議の活動に「日本学術会議協力学術研究団体」として密接に連携した。
- 2) 日本学術会議農芸化学分科会との連携を強化した。  
2010年度に開催したサイエンスカフェのうち, 第137回「お米で糖尿病予防!？」を日本学術会議農芸化学分科会との共催とした。
- 3) 日本農学会に評議員, 運営委員として会員を派遣し, 活動した。  
2021年度に開催された日本農学会運営委員会に庶務理事が出席し, 日本農学会評議員会に副会長が出席した。また2022年度日本農学賞に本会から1件を推薦した。
- 4) (公財)農学会農学教育推進委員会に, 本会会員を派遣した。また, 第20回日本農学進歩賞に, 本会から2件を推薦した。さらに農学教育推進委員会および農学一般関連分野審査委員会にJABEE対応委員長が参加した。
- 5) 日本技術者教育認定機構(JABEE)農学一般及び関連のエンジニアリング分野では7件の継続審査(実地審査)があり, 副審査員を本会より派遣した。また, 生物工学及び関連のエンジニアリング分野では3件の中間審査(実地審査)があった。
- 6) 生物工学及び関連のエンジニアリング分野の分野別審査委員会にJABEE対応委員長が参加した。
- 7) 化学情報協会の正会員として, 活動した。
- 8) 日本国際食品科学工学連合に会員として参加した。
- 9) 日本光生物学協会に委員として会員を推薦し, 活動した。  
日本光生物学協会委員会に本会会員1名が出席した。
- 10) 日本微生物学連盟に会員, 理事として参加し, 活動した。  
日本微生物学連盟理事会に本会代表として出版担当理事が出席した。
- 11) 日本昆虫科学連合に会員として参加し, 活動した。  
日本昆虫科学連合総会に本会会員2名が出席した。
- 12) 男女共同参画学協会連絡会に会員として参加し, 活動した。  
・男女共同参画学協会連絡会運営委員会にダイバーシティ推進委員が出席した。  
・第19回連絡会シンポジウムにダイバーシティ推進委員が参加し, またシンポジウム特設サイトに本会の活動報告ポスターを掲載した。  
・加盟学会の2021年女性比率調査について本会の結果を報告した。  
・男女共同参画学協会連絡会第5回大規模アンケート(科学技術系専門職の男女共同参画実態調査)への参加を会

員に促した。

- ・女子中高生夏の学校2021にダイバーシティ推進委員が参加し, 本会の活動を紹介した。
- 13) 生物科学学会連合に会員として参加, 活動した。  
生物科学学会連合定例会議に本会代表として庶務担当理事が出席した。
  - 14) 国内学術集会の共催・協賛・後援

### 【2021年】(59件)

- ・“未来へのバイオ技術”勉強会「光と音の遺伝子応答とオプトジェネティクス」(Web開催)《後援》(4月21日)
- ・“未来へのバイオ技術”勉強会「命を支える臓器・腎臓は治せるのか?!」(Web開催)《後援》(4月23日)
- ・“未来へのバイオ技術”勉強会「細胞ダイナミクス・イメージング」(Web開催)《後援》(5月17日)
- ・3大学医工連携オンラインセミナー～メタマテリアル・革新的センサー・基礎代謝測定・医療用金属材料(Web開催)《後援》(5月28日)
- ・日本アミノ酸学会第6回産官学連携シンポジウム(Web開催)《後援》(5月31日)
- ・界面コロイドラーニング 第37回現代コロイド・界面化学基礎講座(Web開催)《後援》(6月3～4日)
- ・第31回万有福岡シンポジウム(九州大)《後援》(6月4日～5日)
- ・熱測定オンライン講習会2021(Web開催)《後援》(6月17日から全5回)
- ・第118回有機合成シンポジウム(九州大)《協賛》(6月23日～24日)
- ・第33回万有札幌シンポジウム(Web開催)《後援》(6月26日)
- ・“未来へのバイオ技術”勉強会「遠隔・自動化・制御」(Web開催)《後援》(6月28日)
- ・2021年度前期(春季)有機合成化学講習会(Web開催)《協賛》(6月30日)
- ・日本包装学会第30回年次大会(Web開催)《後援》(7月1日～2日)
- ・新学術領域研究「化学コミュニケーションのフロンティア」第8回公開シンポジウム(Web開催)《後援》(7月2日)
- ・日本工業化学教育研究会 第69回全国大会(大阪特別大会)(大阪)《後援》(8月5日～6日)
- ・第12回 トランスポーター研究会 九州部会(Web開催)《共催》(8月7日)
- ・第11回高校生バイオサミット in 鶴岡(Web開催)《後援》(8月23日～25日)
- ・“未来へのバイオ技術”勉強会 SDGs と未来食シリーズ1「昆虫食, Plant-Based Food は美味しい!!」(Web開催)《後援》(8月26日)
- ・第35回日本キッチン・キットサン学会大会(鹿児島大)《後援》(8月26日～27日)
- ・“未来へのバイオ技術”勉強会「ブロックチェーンで治

- 験を効率化する！」(Web開催)《後援》(8月31日)
- ・第37回シクロデキストリンシンポジウム (大阪大)《後援》(9月2~3日)
  - ・講演会「SDGsを目指したケミカルものづくり～バイオ・生き物の力を最大限に活用する新技術～」(Web開催)《後援》(9月3日)
  - ・第58回粉体に関する討論会 (北見工業大)《後援》(9月6日~8日)
  - ・2021年度 日本冷凍空調学会年次大会 (Web開催)《後援》(9月8日~10日)
  - ・3大学医工連携オンラインセミナー ~歯科・口腔領域における医工連携~ (Web開催)《後援》(9月9日)
  - ・講演会「カーボンニュートラル社会実現に向けた化学技術の最新動向」(Web開催)《後援》(9月10日)
  - ・日本学術会議 食料科学委員会・農学委員会合同 農芸化学分科会主催 連続公開シンポジウム「SDGs達成に向けた農芸化学の挑戦」第一回「食を通して全ての人に健康を」(Web開催)《後援》(9月14日)
  - ・“未来へのバイオ技術”勉強会SDGsと未来食シリーズ2「栄養疫学と Precision Nutrition からみた未来の食品産業」(Web開催)《後援》(9月15日)
  - ・第72回コロイドおよび界面化学討論会 (Web開催)《協賛》(9月15日~17日)
  - ・第31回イソプレノイド研究会例会 (Web開催)《後援》(9月22日)
  - ・天然物化学談話会2021 オンライン特別企画 (Web開催)《後援》(9月25日)
  - ・第363回液体クロマトグラフィー研究懇談会 (Web開催)《後援》(9月28日)
  - ・未来社会を支える温暖化対策技術シンポジウム in 関西 (大阪)《後援》(9月30日)
  - ・第28回セルロース学会年次大会 (Web開催)《後援》(9月30日~10月1日)
  - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「酵素が拓く SDGs への道」(Web開催)《後援》(10月7日)
  - ・日本清涼飲料研究会 第30回 研究発表会 (Web開催)《後援》(10月7日)
  - ・第69回レオロジー討論会 (北海道)《後援》(10月20日~22日)
  - ・第364回液体クロマトグラフィー研究懇談会 (Web開催)《後援》(10月21日)
  - ・第40回日本糖質学会年会 (鹿児島および Web開催)《後援》(10月27日~29日)
  - ・第57回熱測定討論会 (Web開催)《後援》(10月27日~29日)
  - ・第65回 香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会 (山口)《後援》(10月30日~11月1日)
  - ・第20回食品レオロジー講習会—初心者のための実習と基礎：食感・風味の制御に向けて— (東大)《後援》(11月4~5日) 中止
  - ・第57回X線分析討論会 (福岡大)《後援》(11月5日~6日)
  - ・第119回有機合成シンポジウム (早稲田大)《協賛》(11月9日~10日)
  - ・日本希土類学会第39回講演会 (Web開催)《後援》(11月10日)
  - ・大豆のはたらき in 京都一人と地球を健康に—《後援》(Web開催) (11月13日)
  - ・第365回液体クロマトグラフィー研究懇談会 (Web開催)《後援》(11月17日)
  - ・第49回構造活性相関シンポジウム (Web開催)《後援》(11月18日~19日)
  - ・2021年度後期(秋季)有機合成化学講習会 (Web開催)《協賛》(11月25日)
  - ・第26回静岡健康・長寿学術フォーラム (静岡)《後援》(11月26日~27日)
  - ・シンポジウム「モレキュラー・キラリティー2021」(Web開催)《後援》(11月29~30日)
  - ・革新的環境技術シンポジウム 2021~2050年カーボンニュートラルを支えるイノベーション~ (東京・ハイブリッド)《後援》(12月1日)
  - ・第48回炭素材料学会年会 (沖縄)《後援》(12月1日~3日)
  - ・第18回糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム (Web開催)《後援》(12月7日~8日)
  - ・連続公開シンポジウム「SDGs達成に向けた農芸化学の挑戦」第二回「地球と生命をつなぐ高度な化学物質ネットワーク—天然物化学再考—」(Web開催)《後援》(12月8日)
  - ・緊急特別講演IX「新型コロナウイルスとの対峙：生活空間の安全性確保のための技術—新型コロナウイルスの空間(=エアロゾル)モニタリングの重要性~」(Web開催)《後援》(12月8日)
  - ・第366回液体クロマトグラフィー研究懇談会 (Web開催)《後援》(12月14日)
  - ・高専女子フォーラム in 中国・四国 (Web開催)《後援》(12月18日)
  - ・バイオエンジニアリング研究会「Circular economy を実現するバイオエンジニアリング—シングルユース技術の環境負荷を考える」(Web開催)《後援》(12月22日)
- 【2022年】(31件)**
- ・原子力総合シンポジウム 2021《後援》(Web開催)《後援》(1月17日)
  - ・第33回高分子ゲル研究討論会 (Web開催)《後援》(1月20日~21日)
  - ・第367回液体クロマトグラフィー研究懇談会 (Web開催)《後援》(1月21日)
  - ・第27回高専シンポジウム (Web開催)《後援》(1月22日)

- ・第39回コロイド・界面技術シンポジウム「感性を揺るがす界面化学：感覚の視覚化、感性工学の最先端」(Web開催)《後援》(1月27日～28日)
- ・新学術領域「生合成リデザイン」取りまとめ公開シンポジウム(東大)《後援》(1月29日～30日)
- ・第368回液体クロマトグラフィー研究懇談会(Web開催)《後援》(2月17日)
- ・JBA緊急特別セミナー「デュアルユースとワクチン開発・生産体制強化戦略」(Web開催)《後援》(2月24日)
- ・第十回 低温・氷温研究会(関西大および鳥取)《後援》(2月26日)
- ・日本高圧力学会 未来を拓く高圧力科学技術セミナーシリーズ(46)「高圧力下における物性測定技術の最前線」(Web開催)《後援》(3月3日)
- ・バイオエンジニアリング研究会「プラントエンジニアリングはどうなる?!～これからのバイオ医薬製造プラントのあり方」(Web開催)《後援》(3月8日)
- ・未来へのバイオ技術勉強会「健康・長寿研究は今～ショウジョウバエ・酵母・線虫と機能性食品素材」(Web開催)《後援》(3月10日)
- ・第16回日本たまご研究会(京都女子大)《後援》(3月12日)
- ・日本栄養・食糧学会関東支部 第24回健康栄養シンポジウム(東京・ハイブリッド)《後援》(3月19日)
- ・第369回液体クロマトグラフィー研究懇談会《後援》(3月29日)
- ・第95回日本細菌学会総会(Web開催)《後援》(3月29日～31日)
- ・「食」により「人と社会と地球」の健康を創造するためのバイオ技術研究会(仮称)設立準備勉強会 第2回 フードテックで世界をリードするには何が必要か(Web開催)《後援》(3月30日)
- ・JBA バイオエンジニアリング研究会講演会「我が国のバイオ製造業が世界に貢献するには何が必要か」(Web開催)《後援》(3月31日)
- ・第370回液体クロマトグラフィー研究懇談会(Web開催)《後援》(4月27日)
- ・第38回希土類討論会(熊本)《後援》(5月11日～12日)
- ・第33回万有仙台シンポジウム(仙台)《後援》(5月21日)
- ・第9回SBJシンポジウム—未来の生物工学の新たな潮流をつくる—(Web開催)《後援》(5月25日)
- ・第371回液体クロマトグラフィー研究懇談会(Web開催)《後援》(5月26日)
- ・日本ケミカルバイオロジー学会 第16回年会(富山)《後援》(5月30日～6月1日)
- ・第19回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム(岡山大)《後援》(6月4日～5日)
- ・第27回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究

- 集会(横須賀)《後援》(6月23日～24日)
- ・第59回アイソトープ・放射線研究発表会(東大)《後援》(7月6日～8日)
- ・第64回天然有機化合物討論会(静岡)《後援》(9月7～9日)
- ・第51回複素環化学討論会(阪大)《後援》(9月15～17日)
- ・第41回日本糖質学会年会(阪大)《後援》(9月29日～10月1日)
- ・第59回ペプチド討論会(仙台)《後援》(10月26～28日)
- 15) 和食文化国民会議に会員として参加した。
- 16) その他外部団体との連携
  - ・日本学術振興会 第18回日本学術振興会賞に本会から1件を推薦した。
  - ・日本学術振興会 第12回育志賞に本会から1件を推薦した。
  - ・農学会の第20回日本農学進歩賞候補者を2件推薦した。
  - ・飯島藤十郎記念食品科学振興財団の2021年度飯島藤十郎食品科学賞に本会から1件を推薦した。
  - ・三島海雲記念財団の第11回三島海雲学術賞に2件を推薦した。
  - ・山田科学振興財団「2021年度研究援助」に本会から1件を推薦した。
  - ・内藤記念科学振興財団へ2021年度選考委員1名を推薦した。
  - ・文部科学省へ令和4年春の科学技術に関する紫綬褒章受章候補者1名を推薦した

### (3) 関連する国際協力の推進事業

#### 1) 国際学術集会の共催・協賛・後援

##### 【2021年】(2件)

- ・Hope for the Future—RIKEN Symposium on Sustainable Resource Science—(Web開催)《後援》(5月28日)
- ・プロテイン・アイランド・松山2021(愛媛大およびWeb開催)《後援》(9月8日)

##### 【2022年】(1件)

- ・第25回名古屋メダルセミナー(Web開催)《後援》(5月28日)

#### (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- 1) 最高裁判所及び東京地方裁判所に知的財産専門委員候補者3名を推薦し、協力した。
- 2) 大学改革支援学位授与機構へ機関別認証評価委員会専門委員候補者を推薦し、協力した。

#### 【総会、理事会、委員会の開催】

2021年度(2021年3月1日から2022年2月28日)は下記のとおり開催した。

##### ・総会

第65回(2021年度)定時総会を2021年5月21日、日本農芸化学会会議室(東京都文京区弥生2-4-16)において

開催し、次の議案を可決した。

第1号議案 理事及び監事の選任の件

第2号議案 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認の件

・理事会 (7回)

4月28日：①2020年度事業報告書承認、②2020年度計算書類承認、及び監査報告、③通常総会開催、④2022年度大会開催、⑤新企画賞の名称変更、賞助成金交付候補者の承認

5月21日：①入会員の承認、②授賞選考委員改選候補者の修正、③企業研究者活動表彰受賞者の修正、④夢にチャレンジ企画賞受賞候補者の追加、⑤外部団体の理事の選出、⑥監査人契約更新について

5月21日：①会長及び副会長の選出並びに担当庶務の分担、②会務分担規程の変更

7月21日：①入会員の承認、②会長職務代行者の順位決定について、③内閣府への変更認定申請について、④各ワーキンググループリーダー、100周年記念事業担当理事への諮問について、⑤女性研究者賞助成金の返還の申し出について、⑥研究助成規程の変更について、⑦会務分担規程の変更について、⑧諸謝金支給規程の変更について、⑨委員及び幹事規程の変更について

10月14日：①入会員の承認、②会費優遇措置の継続可否について、③名誉会員候補者及び有功会員候補者の承認について、④創立100周年記念誌の出版について、⑤創立100周年記念式典並びに2024年度大会及び2024年度大会実行委員長の指名について、⑥2022年度大会の実施要領・参加費について、⑦研究助成規程の変更について⑧第75回国際会議出席費補助金の承認、⑨2022年度事業計画・予算作成の方針スケジュールについて、⑩事務局人事・初任給について

12月22日：①入会員の承認、②フェローの称号の取消について、③創立100周年記念誌の出版社の選定について、④夢にチャレンジ企画賞の助成金額について（規程及び募集要項の変更）、⑤化学と生物シンポジウムの在り方について、⑥各種表彰の承認について、⑦各種助成金の承認について、⑧第75回国際会議出席費補助金の返還の申し出について、⑨2022年度予算案の検討について

2月9日：①入会員の承認、②授賞選考委員の改選について、③日本農芸化学会賞及び日本農芸化学会功績賞の推薦書変更について、④2022年度大会における授賞式受賞講演の開催形態の変更について、⑤創立100周年記念誌の出版社との契約について、⑥2022年度大会の運営委託契約について、⑦2022年度大会附設展示会の運営委託契約について、⑧2022年度大会スポンサーセミナーの業務委託契約について、⑨化学と生物誌のEBSCOにおける収録データベースの運用について⑩各種表彰の承認について、⑪第76回国際会議出席費補助金の承認について、⑫BBB論文賞表彰規程の変更について、⑬2022年度事業計画案

の承認について、⑭2022年度予算最終案の承認及び資金調達等の見込みについて、⑮化学と生物の交換本の停止について

・授賞選考委員会 (2回)

11月8日：①日本農芸化学会賞・日本農芸化学会功績賞・日本農学賞本会推薦候補者の選考

12月9日：①農芸化学技術賞・農芸化学奨励賞の選考

・学術活動強化委員会 (3回)

3月24日：①学術活動強化委員長の選出について、②各種報告③今後の活動について

10月18日：①2022年度以降のVisionary農芸化学100シンポジウムについて、②2022年度分野融合連携（他学会連携）シンポジウムについて、③「化学と生物」シンポジウムについて、④学活予算及び行事確認について

1月26日：①化学と生物シンポジウムの今後の運営について、②分野融合連携（他学会連携）シンポジウムについて、③Visionary農芸化学100シンポジウムについて、④第2回女性（若手）研究者チャレンジ研究助成について、⑤その他（研究奨励金の審査方法等について）

・学術活動強化委員会総務会 (1回)

11月8日：①化学と生物シンポジウムの今後の運営について、②他学会連携シンポジウムの今後の運営について

・和文誌編集委員会 (3回)

4月2日：①和文誌編集委員の紹介、②和文誌の編集業務について、③書評原稿の採否、④「トップランナーに聞く」担当について、⑤「農芸化学@high school」について

7月16日：①書評執筆の採否、②推薦記事の採否

12月17日：①推薦記事の採否、②農芸化学@high school担当者について、③「化学と生物」の今後の改革案について

・英文誌編集委員会 (1回)

3月30日：①英文誌編集委員の紹介、②BBB論文賞・Most Cited Award について、③Paper mills への対応、④OUP社によるPublisher's Report

・英文誌編集総務会 (3回)

6月8日：①特集号について、②投稿規程への追加項目について、③Paper mills への対応、④BBBのIF増加に向けた取り組み

11月27日：①Minireviewの導入、②Minireviewのフォーマットについて、③BBB連携シンポジウムの開催とMinireview執筆について

1月28日：①論文賞候補の選考、②BBB Most Cited Paper (Review) Award 候補の選考、③特集号について、④訂正通知の名称変更

・産学官学術交流委員会 (4回)

4月27日：①今後の活動について、②農芸化学研究企画賞新企画賞の名称変更について

6月14日：①夢にチャレンジ企画賞について、②農芸化学研究企画賞について、③中小企業産学産官連携研究助成に



について、④コアメンバーについて、⑤産学官若手交流会（さんわか）活動報告について

9月13日：①企画賞について（アンケート結果共有と今後について）、②農芸化学中小企業産学・産官連携研究助成について

12月13日：①第16回企画賞報告書の和文誌推薦について、②第19回農芸化学研究企画賞の採択候補の選考、③第2回夢にチャレンジ企画賞について、④第4回農芸化学中小企業産学・産官連携研究助成の選考について、⑤2022年度予算案の承認について、⑥産学官若手交流会（さんわか）活動報告/計画、⑦2022年度産学官学術交流フォーラム準備状況、⑧さんわか2022年度予算案について

・広報委員会（2回）

4月16日：①2021年サイエンスカフェの開催について、②出前授業への対応について、③SNS関連について

11月15日：①BBBの広報戦略について、②日本学術会議共催サイエンスカフェの動画配信について、③SDGsへの取り組みに関する広報活動について、④2022年度活動計画案・予算案について、⑤トピックス選考スケジュールについて

・JABEE対応委員会（1回）

4月19日：①2021年度農芸化学会JABEE対応委員会の活動方針について、②JABEEプログラム（農学一般・生物工学）について

・ダイバーシティ推進委員会（1回）

4月12日：①2021年度大会（仙台）における男女共同参画ランチョンシンポジウムについて、②女子中高生夏の学校2021について、③ロールモデル集とダイジェスト版の有効活用、④2022年度の男女共同参画ランチョンシンポジウムの検討、⑤今年度活動の検討

・農芸化学女性賞等授賞選考委員会（1回）

12月14日：①農芸化学女性研究者賞・農芸化学若手女性研究者賞・農芸化学女性企業研究者賞の選考

・創立100周年記念事業組織委員会（1回）

8月6日：

報告・議題①第1回編集分科会、②第3回WG、③記念誌構成案

・創立100周年記念事業記念事業実行委員会（1回）

1月6日：

議題①委員長挨拶、②委員会趣旨説明、③委員紹介、④100周年記念事業の概要討議（1）記念誌編集経過報告（2）記念式典・記念シンポジウム（3）寄附について

・創立100周年記念事業組織委員会ワーキンググループ（2回）

8月4日、10月7日：

①第2部の内容の構成と考え方、②創立100周年記念事業組織委員会の状況とアンケートから見て取れる委員のWGに対する希望・期待について

・財務分析ワーキンググループ（1回）

1月14日：

①2022年度全体予算案の検討②創立100周年記念事業基金計画の確認

・大会実行委員会（1回）

3月5日：①仙台大会進捗状況の報告、②仙台大会当日の各係のシナリオ、③仙台大会当日の各係の役割分担の再確認

・大会ワーキンググループ（4回）

8月23日：①アンケート分析、②意見交換、③今後の開催形態の議論の進め方、④2024年度大会と創立100周年記念事業のリンク

10月26日：①行事ごとの開催形態

12月2日：①行事ごとのオンライン併用形態、②参加費の設定、③開催時期の吟味、④支部大会の在り方、運営方式

1月20日：①大会行事の開催形態、②「化学と生物」シンポジウムを大会に組み込む提案、③大会参加費、④開催時期、⑤支部大会の在り方

## 【会員の状況】

2021年度（2022年2月28日現在）の会員数は次のとおりである。

	2021年度	2020年度	増減
名誉会員	14	16	-2
有功会員	221	214	7
シニア会員	234	258	-24
一般会員	6,461	6,889	-428
教育会員	89	96	-7
学生会員	2,119	2,358	-239
ジュニア会員	8	9	-1
国外会員	27	37	-10
団体会員	229	247	-18
賛助会員	96	97	-1
(口数)	(180)	(181)	(-1)
合計	9,498	10,221	-723

(2022年2月末現在)

会員種別	名誉	有功	シニア	一般	教育	学生	ジュニア	国外	団体	賛助 (口数)	小計
前年2月末	16	214	258	6,889	96	2,358	9	37	247	97 (181)	10,221
北海道支部	0	13	6	235	3	99	0	0	6	3 (3)	365
東北支部	0	9	12	379	8	193	0	0	15	1 (1)	617
関東支部	8	100	103	2,719	33	764	8	0	109	60 (122)	3,904
中部支部	2	12	26	798	9	312	0	0	32	9 (18)	1,200
関西支部	3	50	50	1,267	15	411	0	0	37	16 (29)	1,849
中四国支部	0	17	15	605	12	192	0	0	21	5 (5)	867
西日本支部	0	20	22	449	9	147	0	0	9	2 (2)	658
国外	1	0	0	9	0	1	0	27	0	0	38
合計	14	221	234	6,461	89	2,119	8	27	229	96 (180)	9,498
増減	-2	7	-24	-428	-7	-239	-1	-10	-18	-1 (-1)	-723
入会	0	0	0	223	3	813	1	1	4	0	1,045
復会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会員種別変更	0	16	2	749	-2	-763	-1	-1	—	—	—
休会	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	0	-2
退会	—	-1	-14	-376	0	-212	0	0	-17	0	-620
会費未納退会	—	—	-4	-290	-1	-70	-1	0	-5	-1 (-1)	-372
会費滞納による 会員資格停止	—	—	-4	-725	-7	-7	0	-10	0	0	-753
逝去	-2	-8	-4	-7	0	0	0	0	—	—	-21
口数変更	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0 (0)	—
合計	-2	7	-24	-428	-7	-239	-1	-10	-18	-1 (-1)	-723

## 新規入会者の入会年度内訳

会員種別	名誉	有功	シニア	一般	教育	学生	ジュニア	国外	団体	賛助	小計
2021年度入会	0	0	0	96	3	141	0	0	3	0	243
2022年度入会	0	0	0	127	0	672	1	1	1	0	802
計	0	0	0	223	3	813	1	1	4	0	1,045